

事業評価書

補助事業名	交通施設：市道小10742号線外2道路改良工事				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市中延地内				
補助事業の成果の目標	<p>当路線は、中延地区の住民が小川地区市街地へ向かう生活道路として利用されているとともに、県道玉里水戸線と市道小201号線を結ぶ道路でもある。</p> <p>しかし、現道は、全線にわたり狭隘なため、車両同士の離合が困難な状況であり、さらに道路側溝が未整備であることから、大雨時には雨水が民地に入り、水たまりができてしまうことで地域住民の生活環境に支障をきたしている。</p> <p>よって、これらを改善するため、現道の道路拡幅及び道路側溝の整備を行い、交通の安全性の確保及び地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p>【参考指標】対象地区（中延地区）人口／世帯数：1,386人／574世帯 （令和2年4月1日現在）</p>				
補助事業の内容	道路改良工事 L=143m W=4.0m				
補助事業の始期及び終期	平成21年度から令和3年度				
事業費及び交付金額		令和元年度 以前	令和2年度	令和3年度	計
	事業費	円 242,653,386	円 32,934,000	円 50,000,000	円 325,587,386
	交付金額	円 218,400,000	円 30,000,000	円 47,500,000	円 295,900,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 本路線は、全線供用開始後に地元区長等から整備効果等に関する意見を聴取することとしているが、令和2年度工事完了区間においては、「道路が整備され緊急車両の進入が可能となり安心している。」や「水たまりが解消し、ごみ集積所まで安全に歩いて行ける。」など、地域住民より既に高い評価を受けている。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 本事業が防衛省交付金を活用した事業である旨を、 ①地区回覧により周知した。 ②工事期間中、工事看板に記載した。 ③市ホームページに掲載した。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育文化施設：学校給食センター統合備品購入				
補助事業者名	小美玉市長				
実施場所	小美玉市野田1475番地127（小美玉学校給食センター）				
補助事業の成果の目標	<p>当市の学校給食は、小美玉学校給食センターと玉里学校給食センターの2か所で調理し提供している。玉里学校給食センターは築34年が過ぎ、老朽化で建物及び設備、備品等の経年劣化が激しいため、令和3年4月に小美玉学校給食センターに統合予定である。既存の給食用備品だけでは統合後の対応が難しく、児童・生徒の学校生活に影響が出ることが懸念されている。</p> <p>給食センター統合に伴い、不足分のコンテナ、コンテナイン消毒保管機、昇降式消毒保管機、カート(米飯用食缶)等を新たに購入することで、効率良く衛生的に給食を提供することができる。また、食器箆類を新たに購入することにより、市内全学校で同じものが使用でき、学校給食の運搬や配膳で児童・生徒が安全で利用しやすい教育環境の確保を図るものである。</p> <p>【参考指数】</p> <p>喫食者数/延べ日数/延べ利用者数： 4,334人/ 201日/ 871,134人 (令和2年5月1日現在)</p>				
補助事業の内容	統合備品購入				
補助事業の始期及び終期	令和2年度				
事業費及び交付金		2年度			計
	事業費	円 31,350,000 (28,675,900)	円 ()は対象事業費	円	円 31,350,000 (28,675,900)
	交付金額	円 24,000,000	円	円	円 24,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 毎日作業している調理員及び配膳員に意見を聴取したところ、新たに購入した不足分の統合用備品を使用することで、市内全校分が同じもので統一されたので作業がしやすい、効率よく衛生的な給食が提供できているとのことで児童生徒が安全で利用しやすい教育環境の確保が図れたと考える。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 ①市ホームページに掲載 ②学校広報誌等に掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:小美玉市情報教育支援基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市内小学校及び中学校								
補助事業の成果の目標	<p>当市の小中学校では、現在、PC教室等限られた教室においてコンピュータを使用した授業を行っており、使用できる台数も限られているため、児童生徒の習熟度にもばらつきがあるのが現状である。</p> <p>先般、優先的に整備すべきICT環境整備について「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」が示された。当市でもその方針に基づき、小中学校のICT環境の整備を推進するため、コンピュータの増設等を行い、普通教室での活用や個別学習、グループごとの発表等協同学習等に活用し、ICT教育環境の向上を図るものである。</p> <p>【参考指標】</p> <p>◆ 児童・生徒数:3,418人 (R3. 5. 1現在)</p> <p>小川南小 422人、野田小 165人、上吉影小 115人、下吉影小 50人、竹原小 196人、羽鳥小 470人、堅倉小 250人、納場小 267人、玉里学園義務教育学校 517人、小川南中 247人、小川北中 177人、美野里中 717人</p>								
補助事業の内容	情報機器の更新、新規整備、リース継続								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和4年度 基金の処分:令和元年度から令和4年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)						基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	60,004,000	0	0	0	60,004,000		60,004,000	
R1	60,000,000	0	0	0	60,000,000	40,521,000	79,483,000	44,852,095	
R2	92,487,000	0	0	0	92,487,000	52,344,000	119,626,000	56,676,112	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>各学校の教職員、児童生徒それぞれにアンケートを実施したところ、1週間の平均活用授業数が昨年より、小学校は約7時限、中学校は約10時限増加していた。</p> <p>主な活用方法としては、「掲示・比較」が約58%、「調べ学習」が約33%という結果になった。</p> <p>活用される教科については、「社会」が最も多く約28%、次いで「英語・算数」が約21%という結果になっている。</p> <p>尚、児童生徒のICT活用に関するアンケートでは、パソコンやタブレットを使うことが楽しいと感じる児童生徒が96%、パソコンやタブレットを活用した授業がしたいと考える児童生徒が93%おり、児童生徒の充実感としても9割を超えているため、目標は達成したと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>1. 学校だよりに掲載し、保護者及び地区住民へ周知。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	産業の振興に寄与する事業:小美玉市地域再生交流拠点施設維持管理運営等事業基金								
補助事業者名	小美玉市長								
実施場所	小美玉市山野1628-44(空のえき「そ・ら・ら」)								
補助事業の成果の目標	<p>空のえき「そ・ら・ら」は、平成26年7月31日にオープンして6年5ヶ月が経過し、現在約321万人の来場者を迎えたところである。</p> <p>地場製品の販売、地場産品を味わえる施設、イベントの開催、屋内外広場を充実させ、地域経済の活性化につなげ、地域活動交流拠点としての環境の確保を整え、さらなる集客を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <p>平成27年度 来場者数 534,000人 平成28年度 来場者数 477,300人 平成29年度 来場者数 480,300人 平成30年度 来場者数 514,400人 令和1年度 来場者数 458,700人</p>								
補助事業の内容	地域再生交流拠点施設の維持管理及び運営等								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成30年度から令和7年度 基金の処分:令和元年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額	
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計
		円	円	円	円	円	円	円	円
	H30	50,000,000				50,000,000		50,000,000	
R1	41,043,000				41,043,000	9,234,000	81,809,000	9,234,635	
R2	62,074,000				62,074,000	30,000,000	113,883,000	30,527,436	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 新型コロナウイルスの影響を大きく受け、昨年と比較した「そ・ら・ら」全体での売り上げは約24.1%の減収となっている。 その中でも来場者の満足度アンケートでは8割強の来場者が「普通～満足」や「再度来場したい」との回答を得られており、目標は達成できたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ①毎月発行している「そ・ら・らNews」に掲示 ②市ホームページ及び「そ・ら・ら」ホームページに掲載</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								